

## g 合宿誘致の方法

### 対象団体を誘致するための方法や、合宿誘致のために必要なこと等について

- ・合宿等の誘致は、大学や高校に対して直接営業している。また、所属する南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会は旅行業者に対して営業を行っていることから、そこからの利用も増えている。しかしながら、町としては、食事や宿泊に対して中間マージン（10～15%）を取られることから、旅行業者の介入は望ましく考えていない。
- ・近年スポーツ観光に力を入れる旅行業者が増えている。また、業者に応じて得意なスポーツも異なる。

## h スポーツ合宿地に必要な機能や競争に打ち勝つ特徴について

### 「施設水準・広さ・宿泊・食事・交通（送迎含む）・土産物・観光地等について」

- ・スポーツ観光はグラウンドのクオリティが担保されていることは当然で、宿泊と食事の質を向上させることが重要。また、送迎等の交通手段を確保する必要もある。
- ・土産や観光は施設のアピールポイントとしては、備えているとよい。（ただし、まじめなクラブは練習が中心となるため、ターゲットにより異なる。）
- ・週末等を利用した1泊2日の合宿が多い。2月8月のシーズンには5泊6日が多い。中には2週間、1ヶ月といった利用もある。
- ・2週間の場合には6勤1休が一般的。なお、5泊6日の場合には休養日はない。
- ・合宿においても筋トレ等が行える基礎体力の向上をめざす施設の要望は多い。本施設では、それら設備や道具を利用者に持ち込んでもらっているが、来年度の供用開始をめざして建設を予定している。（合宿利用を増やす魅力の1つとなる。）
- ・大会や合宿の誘致は広域で連携して行うことの効果が高い。大会は会場の確保、合宿は練習試合の実施等メリットが多い。（競争ではなく共同）
- ・サッカー、野球、ラグビー等多くの大会を開催。サッカーは350人（12～15チーム）、野球は360人（12チーム）、ラグビーは600人（30チーム）規模で開催。野球は1試合が長く、効率が悪い（3試合/日程度しか組めない）。ラグビーは試合形式を変更して、3つのグラウンドをフルに活用して実施（2～3日で100試合）。
- ・大会はホスト校を設定する（セレッソ大阪 [サッカー]、御所実業高校 [ラグビー] 等）。そうすると他のチームが集まってくる。なお、それらメジャーチームとのコネは職員個人の顔でないでいる。
- ・大会には必ず地元のチームを入れて、地元のスポーツレベルを上げることにより地域住民の理解や認知度が高まる。

## **i 富田町スポーツ観光協議会について**

### **「官民が連携して取り組む、上富田町スポーツ観光協議会について」**

- ・上富田町スポーツ観光推進協議会は和歌山大学の先生をコーディネーター、アドバイザーに置き、弁当等の仕出し部会、宿泊部会で構成される。特に仕出し部会は、弁当の試食会やパッケージの検討等、多くの会議を重ねた。
- ・スポーツに興味のない人など、十分町民に本事業の趣旨を周知できていない側面もある。
- ・決算等の数字では本施設、本事業の効果を説明できない。南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会では地域に対する経済波及効果を算出している。町でも同様に経済波及効果を算出したい。

## **j 閑散期対策**

### **冬季や梅雨など閑散期の利用促進等について**

- ・営業をかけるものの、閑散期の利用は少ない。そこで独自大会の企画等が重要になる。
- ・冬場の利用は結構多い。サッカー、ラグビーはシーズン。一方、野球の利用は落ちる。
- ・スポーツ観光を成功させるためには、地域利用、地域開放を担保しておくことも重要。(野球の利用が少ない時期に、少年野球団への開放。平日昼間に地域のグラウンドゴルフ団体やゲートボールに貸し出し等。)
- ・事業効果のアピール手法として、合宿や大会に訪れた有名選手による地元へのスポーツ教室開催も効果が高い。

## **k その他**

- ・スポーツ弁当は 18,000 食/年の売上げとなっており、年々増加している。弁当のメニューは中長期の合宿に対応するため 5 種類準備しており、ごはんの量も変えることができる。町内弁当業者 6 社が協力して開発し、調理している。各業者のとりまとめと、同じメニュー、パッケージで提供できるかがポイント (パンフレットも作成)。
- ・課題解決に向けては、多様な取り組みが必要。
- ・各種協会 (日本ラグビーフットボール協会、日本サッカー協会等) に顔を出し、情報交換や情報収集を行うことが重要。担当者の「顔」が大切。積極的に営業をしかけること。
- ・利用者は関西が中心。関東への知名度はまだ低い。
- ・効率や稼働率、営利等をめざす運営を行うのであれば、完全に民間にまかせることが効果的だが、地域利用等を考慮すると、そういうわけにもいかない。どのような運営を行うのか、行政が方針を決める必要がある。

- ・H27に国体が開催され、本施設も利用されたが、決して、国体を目的にしておらず、あくまで契機と捉えている。
- ・野球場を設けるのであれば、陸上を対象としたトラックを設けた方が良い。1つのレーンを1つの学校に貸し出すことができ、7レーンあれば7つの学校が集まる。非常に集客力が高い(同時に700~800人)。なお、陸上トラックとサッカーコートとの組み合わせは悪く、離して設置する方が良い。また、周辺地域における設置状況等も調査する必要がある。
- ・旅行業の資格を取得し、着地型観光としてスポーツ観光を推進する事例もある。(七尾市和倉温泉)なお、上富田でも検討している。
- ・イベント広場(屋根付き屋内運動場)は重要な施設。各スポーツにおけるアップの場所であったり、雨天の中では練習できない「野球」への対応。必須ではないが、なければ客がこない。また、大きさは40m×50m程度。夜間のフットサル等、平日の利用も多い。
- ・現在は芝のバックアップ(サニタリー)を確保していない。Jリーグのホームのように養生期間を長くとれるなら別だが、養生期間が短いと張り替えても根付く前に剥がれてしまうためオーバーシードで対応している。天然芝のグラウンドは、原則一日3試合まで等の条件を付けており、一般貸しはしていない。
- ・人工芝は、使用頻度にもよるが約10年で張替えが必要。上富田でも人工芝のヘタリが出てきており、芝を起こす機械も導入しているが限界に来ており、張替を検討している。
- ・遊具広場は、遊具の維持管理が大変でリスクも大きいので、なくてもよい。
- ・ヘタ地でも余剰地は芝張りとしてウォームアップエリアとして活用している。
- ・スポーツセンターパンフレットは、日本語版、英語版を作成している。

④ 現地写真



野球場



野球場



野球場



野球場ブルペン



人工芝・クラブハウス



人工芝野球（余剰スペース活用）



クラブハウスロッカールーム



クラブハウスシャワールーム／指定管理者 NPO



天然芝グラウンド



天然芝グラウンド



屋内イベント広場（屋根付練習場）



屋内イベント広場（屋根付練習場）



メイン天然芝グラウンド



余剰地ウォーミングアップエリア



余剰地ウォーミングアップエリア



テニスコート4面(オムニコート)



散水用井戸



トレーニングロード



メイン天然芝グラウンドオーバーシード養生



町担当者



紀州口熊野ラグビーフェスタ

⑤ 上富田スポーツセンターパンフレット



交通のご案内



交通アクセス

**バス**  
天王寺から新宮行きの、または白旗行きの特急列車(約1時間)乗車後徒歩15分、新伊田駅西口徒歩15分、紀伊田辺駅からバスもしくはタクシーに乗って下さい。

**マイカー**  
大阪から長和自動車を利用、長和から国道42号を南下し、徳島に接して右折、赤坂本郷へ。

**飛行機**  
羽田発(所要時間約80分)の飛行機で南紀白浜空港に到着。空港からは、バスもしくはタクシーに乗って下さい。

お問い合わせ

**上富田スポーツセンター**  
〒649-2105 和歌山県上富田町上富田町町役所3871番地  
tel.0739-47-4890

**上富田町教育委員会**  
〒649-2105 和歌山県上富田町上富田町町役所758番地の1  
tel.0739-47-5930 fax.0739-47-4339

和歌山県 上富田町

スポーツではじめる、健康習慣。

**KAMITONDA Sport Center**  
上富田スポーツセンター

**KAMITONDA Sport Center**

**野球場**  
施設面積 18,406㎡ 仕上げ 内野/黒土混合土 外野/高い芝  
グラウンド面積 13,581㎡ 内野スタンド/階梯式スタンド 外野スタンド/高い芝  
築 築 距離 95m 更衣室 (1整列3整列)  
中 壁 距離 122m 事務棟 鉄骨平屋建 80㎡  
内野スタンド収容人員 1,000人  
外野スタンド収容人員 3,000人

**球技場(天然芝)**  
施設面積 13,500㎡  
グラウンド面積 10,240㎡  
長 迎 距 離 128m  
短 迎 距 離 80m  
スタント収容人員 3,600人  
仕上げ ティフトン芝

**研修棟**  
築 築 距離 128.8m  
築 築 材 トイレ

**芝生広場**  
大型遊具「夢のも境」、ロークライミング、藤橋、すべり台、シーソー、ジャンクルジム、ブランコ、ベンチ等

**ピッチング練習場**

**クラブハウス**  
鉄骨2階建 331.77㎡  
更衣室(シャワー付き2室) 研修室 会議室

**多目的グラウンド Bコート(天然芝)**  
グラウンド面積 10,371㎡  
長 迎 距 離 121m  
短 迎 距 離 85m  
スタント収容人員 500人  
仕上げ ティフトン芝  
サッカー、ラグビー、フットボール、野球、グラウンドゴルフ等各種スポーツイベントが可能

**多目的グラウンド Aコート[人工芝][夜間照明付]**  
グラウンド面積 12,370㎡ 仕上げ モノフィラメント人工芝  
長 迎 距 離 121m  
短 迎 距 離 102m  
サッカー、ラグビー、フットボール、野球、グラウンドゴルフ等各種スポーツイベントが可能

**屋内イベント広場**  
【人工芝】夜間照明付  
施設面積 40m×50m=2,000㎡ 2面  
付 属 棟 ・フットサルコート  
・野球の野練習場  
97.20㎡  
シャワー室  
トイレ  
放送室

**テニスコート**  
コート面積 2,762㎡  
コート 4面(夜間照明付)  
コートの種類 オムコート(砂入人工芝)

## ⑥ 上富田スポーツ弁当パンフレット



**上富田スポーツセンター**

上富田スポーツセンターは、「まわやから上富田文化と健康づくり」事業の一環として建設しました。野球場・多目的グラウンド・テニスコート・芝生広場・管理棟があります。

**交通のご案内**



**お問い合わせ**  
上富田町教育委員会/上富田町スポーツ観光推進協議会  
〒649-2105 和歌山県西牟婁郡上富田町明東758番地1  
Tel.0739-47-5930 FAX.0739-47-4339



**アスリートのための  
栄養バランス弁当**

**上富田  
スポーツセンター弁当**

**主要グラウンド設備**

**野球場** 野球場は、両翼距離90m、収容観客12000人超する屋外の施設で、内野・外野の広さが73.500㎡超あります。

**球技場** 球技場は、13,500㎡の広さがあり、サッカーグラウンド・ラグビーグラウンドとして広く活用されています。

**多目的グラウンド** 多目的グラウンドは、長辺距離192m、短辺距離1150mで、芝生3500㎡以上は5,000人が収容でき、サッカー・ラグビー・フットサル・陸上競技・各種スポーツイベントが利用できます。

**テニスコート** テニスコートは、4組あり、コート数は16コートです。照明は照明付で夜間も使用できます。

**屋内イベント広場** 屋内イベント広場は400㎡超の2,000㎡の広さがあり、各種イベントや、テニスコート・フットサル・野球、サッカーの練習などに使用できます。

体の仕組みを無視して、  
根性だけでは戦えません。



**上富田スポーツセンター弁当とは？**

上富田スポーツセンター弁当は、地元のお弁当屋さんが、上富田スポーツセンターに来ていただいたアスリートの、食事面で少しでも力になりたいという強い思いから、弁当屋さん・栄養士・大学の教授など何度も会議を重ね開発した、BCAAを多く含み、尚且つバランスのとれたスポーツ選手向けの弁当となっています。

オレンジにはビタミンCが多く、ウエン酸が疲労回復に効果的です。

切り干し大根はネオウルの空導、食物繊維やカルシウム、ビタミンB<sub>6</sub>、鉄分も多く含まれています。ジャコをプラスして栄養豊富な、ウエン酸に含まれるウエン酸は、精神を安定させ、身心を元気にする効果も。

鶏むね肉は高タンパク、低脂肪でBCAAが豊富です。代謝を進めて脂肪を活性化させるビタミンB群が含まれています。

かぼちゃにはビタミンC、Eが多く含まれ、特にビタミンA(β-カロテン)には抗酸化作用があります。ニンニクの風味をプラスして食欲増進効果。

卵には必須アミノ酸がバランスよく含まれ免疫力をアップしてくれます。おじやと組み合わせてミネラル分や鉄分も強化。

ごぼうには食物繊維やミネラル成分も多く含まれています。ごまをプラスしてカルシウムもアップ。

サバの場合

サバは脳の活性化に役立ち、なおかつハードな練習で溜った疲労感を軽減、強化してくれます。



**上富田  
スポーツセンター弁当**

**BCAA 7,000mg** **600円**

## BCAAを多く含み、 バランスのとれたお弁当です。

**BCAAとは？**

BCAAとは (Branched Chain Amino Acids)の略文字で、分枝鎖アミノ酸と言われ、具体的にはバリン、ロイシン、イソロイシンの3つのことをいいます。

**BCAAを摂取すると？**

- 筋肉の分解を最小限に抑えることができます。
- 疲労の軽減に役立ち、集中力の持続にもつながります。
- 筋肉の成長を促進する効果があります。
- 筋肉の増加を促進する効果があります。



バリン  
ロイシン  
イソロイシン



筋肉の分解を抑える  
疲労の回復  
筋肉の成長  
筋力の増加

人間の体の多くはタンパク質で合成されます。そしてその中でもBCAAは特に筋肉を合成するときに多く必要になるアミノ酸です。運動時にBCAAを摂取しておく事により、トレーニングの効果を向上させる事が出来るといわれています。



⑦ 上富田スポーツセンター利用状況

月	テニスコート		多目的グラウンドA		多目的グラウンドB		野球場	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4月	92	562	71	3,660	11	1,750	16	1,145
5月	113	739	64	2,340	14	550	18	625
6月	110	686	59	2,020	6	730	19	720
7月	128	1,094	61	2,652	10	550	14	1,440
8月	100	695	57	3,719	11	1,247	20	1,130
9月	114	638	69	2,285	6	400	16	870
10月	103	850	68	2,295	2	0	4	155
11月	99	634	66	3,270	5	880	8	466
12月	101	617	49	2,014	12	1,300	9	342
1月	97	701	57	1,795	8	340	6	285
2月	92	836	63	2,490	6	510	18	1,050
3月	109	1,277	70	4,120	12	2,520	25	1,221
合計	1,258	9,329	754	32,660	103	10,777	173	9,449

月	イベント広場		球技場		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4月	52	1,133	11	700	253	8,950
5月	49	1,235	16	1,030	274	6,519
6月	51	1,552	9	870	254	6,578
7月	62	1,286	13	1,070	288	8,092
8月	62	1,437	18	1,910	268	10,138
9月	43	758	6	400	254	5,351
10月	49	1,327	2	50	228	4,677
11月	58	2,271	7	1,050	243	8,571
12月	49	1,519	5	500	225	6,292
1月	43	803	5	273	216	4,197
2月	52	1,635	12	705	243	7,226
3月	57	1,259	10	2,530	283	12,927
合計	627	16,215	114	11,088	3,029	89,518

平成 26 年度利用状況

月	テニスコート		多目的グラウンドA		多目的グラウンドB		野球場	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4月	90	1,033	67	2,681	13	1,530	11	243
5月	102	1,095	67	3,845	6	720	6	275
6月	56	328	52	3,035	8	3,750	18	580
7月	77	1,023	57	2,640	9	930	15	1,392
8月	78	679	54	3,690	11	1,750	19	1,310
9月	100	632	68	5,425	10	1,600	18	830
10月	89	1,131	84	13,240	18	8,000	18	1,600
11月	69	591	56	2,526	25	200	18	280
12月	51	540	51	3,310	11	1,930	12	660
1月	51	534	48	3,005	7	870	11	345
2月	49	458	55	2,660	12	700	19	960
3月	78	744	59	3,502	18	2,260	23	1,610
合計	890	8,788	718	49,559	148	24,240	188	10,085

月	イベント広場		球技場		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4月	53	1,295	12	1,100	246	7,882
5月	54	1,614	16	1,160	251	8,709
6月	55	4,640	10	820	199	13,153
7月	71	3,056	11	1,160	240	10,201
8月	59	2,252	13	1,300	234	10,981
9月	47	4,122	10	3,200	253	15,809
10月	43	9,036	18	4,800	270	37,807
11月	53	1,493	23	200	244	5,290
12月	51	2,748	7	1,200	183	10,388
1月	41	1,654	3	660	161	7,068
2月	66	2,500	13	610	214	7,888
3月	55	2,020	12	522	245	10,658
合計	648	36,430	148	16,732	2,740	145,834

平成 27 年度利用状況

⑧ 上富田町スポーツ合宿宿泊集計表

	宿泊	備考
平成25年4月	25	サッカーチーム
平成25年5月	130	アーチェリー、サッカー
平成25年6月	161	ラグビー、サッカー
平成25年7月	795	サッカー、水泳、ゴルフ、ラグビー
平成25年8月	1376	野球、水泳、ゴルフ、ラクロス
平成25年9月	40	野球
平成25年10月	0	
平成25年11月	80	サッカー
平成25年12月	80	サッカー
平成26年 1月	315	サッカー、バスケット
平成26年 2月	112	サッカー
平成26年 3月	1030	ラグビー、サッカー、バレー

平成25年度合計 4,144 泊

	宿泊	備考
平成26年 4月	314	サッカー、ラグビー
平成26年 5月	40	サッカー
平成26年 6月	176	サッカー、野球
平成26年 7月	1,356	水泳、ゴルフ、サッカー
平成26年 8月	2,008	サッカー、水泳、ゴルフ、ラクロス、野球
平成26年 9月	170	サッカー、ラグビー、野球
平成26年10月	65	サッカー
平成26年11月	188	サッカー、野球、ラグビー
平成26年12月	678	サッカー、ゴルフ、駅伝、ラグビー
平成27年 1月	283	サッカー、ゴルフ、野球、バスケット
平成27年 2月	163	サッカー、ゴルフ
平成27年 3月	1,632	ラグビー、バスケット、ゴルフ、サッカー、野球、バレー

平成26年度合計 7,073 泊

	宿泊	備考
平成27年 4月	176	サッカー
平成27年 5月	392	サッカー、アーチェリー、ラグビー
平成27年 6月	58	野球
平成27年 7月	1233	水泳、ゴルフ、空手、ラグビー、サッカー
平成27年 8月	1186	水泳、ゴルフ、野球、サッカー、ラクロス
平成27年 9月	224	サッカー、ゴルフ、野球
平成27年10月	276	サッカー、ラグビー、ゴルフ、野球
平成27年11月	40	野球
平成27年12月	254	ゴルフ、サッカー
平成28年 1月	377	サッカー、バスケット、駅伝、野球
平成28年 2月	733	サッカー、ゴルフ
平成28年 3月	2866	サッカー、ラグビー、ゴルフ、野球

平成27年度合計 7,815 泊

総合計 19,032

⑨ 上富田町スポーツ観光推進協議会の取組み

年 月 日	上富田町スポーツ観光推進協議会の取組	内 容
平成25年7月21日	第1回スポーツ観光推進協議会	・上富田町スポーツ観光推進協議会の設置について協議
平成25年10月17日	第2回スポーツ観光推進協議会	・宿泊・弁当部会の設置 ・筑波大学 高橋先生による講演会
平成25年11月26日	第1回弁当部会	・上富田スポーツセンター弁当について協議
平成26年3月4日	第2回弁当部会	・国体リハーサル大会の弁当について協議
平成26年4月1日	第3回スポーツ観光推進協議会	・平成25年度の取組と今後の取組について協議
平成26年11月27日	第3回弁当部会	・上富田スポーツセンター弁当の中身について協議 ・国体時の弁当について協議
平成27年3月17日	第4回弁当部会	・国体、障害者スポーツ大会の弁当について協議 ・弁当ガラの回収について協議
平成27年4月28日	第5回弁当部会	・弁当ガラの回収について協議 ・国体に向けての新しいメニューの作成について協議
平成27年7月30日	第6回弁当部会	・国体時の弁当発注方法・数量・メニューの内訳について協議 ・お茶について協議
平成27年8月21日	第7回弁当部会	・国体時の弁当メニューの試作並びに意見交換会
平成27年9月1日	第3回スポーツ観光推進協議会	・国体の受け入れ体制について協議 ・上富田スポーツセンター弁当の賛同企業について紹介
平成28年2月23日	第8回弁当部会	・今後のスポーツセンター弁当について協議
平成28年3月24日	第4回スポーツ観光推進協議会	・元気プロジェクト事業の取組について ・宿泊・弁当の実績について

⑩ 上富田スポーツセンター弁当集計表

	個数	備考
平成26年1月～3月	1866	サッカー大会、口熊野ラグビーフェスタ、野球合宿

平成25年度合計 1,866

	個数	備考
平成26年6月	200	口熊野ベースボールフェスタ弁当
平成26年7月	10	サッカー合宿
平成26年8月	1,054	サッカー合宿・大会、ラグビー合宿
平成26年9月	875	教育委員会行事、国体サッカーリハーサル大会
平成26年10月	293	教育委員会行事、国体サッカーリハーサル大会
平成26年11月	519	教育委員会行事、野球合宿・大会
平成26年12月	1,386	ラグビー合宿、口熊野サッカーフェスタ、野球合宿、サッカー大
平成27年 1月	292	サッカー合宿、紀州口熊野マラソン
平成27年 2月	60	サッカー合宿
平成27年 3月	2,052	口熊野ラグビーフェスタ、サッカー大会・合宿、教育委員会行事、野球合宿、ラグビー合宿

平成26年度合計 6,741

	個数	備考
平成27年 4月	360	ラグビー大会、サッカー大会
平成27年 5月	176	ラグビー合宿、野球合宿、教育委員会行事
平成27年 6月	1041	ラグビー合宿、サッカー大会、口熊野ベースボールフェスタ、教育委員会行事、福祉施設
平成27年 7月	647	子供会事業、商工会事業、サッカー大会、
平成27年 8月	353	教育委員会行事、サッカー大会、和歌山大学研修、バドミントン大会
平成27年 9月	5927	紀の国わかやま国体、和歌山県身体障害者連盟、野球合宿
平成27年10月	3293	紀の国わかやま国体・大会、ラグビー大会、サッカー大会
平成27年11月	351	和歌山県生涯学習課、ラグビー合宿、野球大会
平成27年12月	1151	サッカー大会・合宿、野球合宿
平成28年 1月	879	サッカー大会・合宿、野球合宿、口熊野サッカーフェスタ、和歌山県林業センター
平成28年 2月	238	サッカー大会・合宿、野球大会、ラグビー合宿
平成28年 3月	773	サッカー大会・合宿

平成27年度合計 15,189

総合計 23,796 (弁当屋に直接注文分は除く)

## 2) J-GREEN 堺（堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター）

### ① J-GREEN 堺の概要

J-GREEN 堺は、日本最大級の施設規模を誇り、サッカーをはじめとするスポーツ・レクリエーション活動の振興を図るスポーツ施設である。

大和川の河口左岸、堺泉北港の北端に位置し、大阪ガス所有の工場の跡地を利用し、堺市が大阪府と日本サッカー協会の支援を受けて整備した。

### ② 視察概要

**内容：**J-GREEN 堺視察並びに市担当職員、指定管理者へのヒアリング

**日時：**2017.2.23 10:00～

**場所：**J-GREEN 堺

### ③ ヒアリング記録

堺市担当職員、指定管理者へのヒアリング記録を以下にまとめる。

ヒアリングは「施設レベル」「施設維持管理の方法」「グラウンドの年間利用状況」「合宿誘致・大会誘致の方法」「スポーツ合宿地・大会開催地に必要な機能や競争に打ち勝つ方法」等のテーマを明らかにした上で実施した。

#### a 施設レベルについて

##### 「グラウンドの仕様や水準」

- ・全国規模大会や国際大会の誘致ができるよう、人工芝については、JFA 公認や FIFA 公認の人工芝かつ、稼働時間を考慮した耐久性の高い人工芝が求められる。
- ・天然芝についても、様々な年代、団体の利用、国際大会をも受け入れられるように、常緑を前提として維持管理が求められる。なお、天然芝の明確な公認の基準はない。
- ・トップリーグの利用は、良好な状態の天然芝のグラウンドを準備することが必須となる。また、常緑でなければ、キャンプの誘致も難しい。
- ・天然芝グラウンドは国際大会等を開催できるレベルを想定して整備、維持管理している。
- ・人工芝の S6/7 コートは、JFA 公認かつ FIFA2 スターのレベルに設定している。国際大会（女子ワールドカップ等）などは人工芝で開催することもあり、その事前練習なども想定した。
- ・人工芝の S8～13 コート及び S15/16 コートは JFA 公認を取得しており、JFA が指定する大会や各種全国大会予選などの開催を想定した。

- ・人工芝のS14コートはJFA公認を取得していないものの、トラックやラグビーポールを備え、陸上やラグビー、ラクロスなど多様目での利用を想定した。
- ・近年の人工芝の品質は向上しており、レベルを保てば、大きな大会等でも十分利用できる。

#### 「天然芝・人工芝の区分」

- ・グラウンドの利用区分は2時間1コマとしており、天然芝については、一日最大4時間（2コマ）かつ1週間最大8時間（4コマ）までとしている。なお、人工芝については、特に利用規制は設けていない。
- ・現在、天然芝が5面、人工芝が11面、フットサルが8面あり、収支をとれる利用率を考慮するとともに、敷地の中で、最大限確保できる面数を設定し、人工芝と天然芝の面数割合を決定した。なお、日本で1施設における最大の面数になるようにも設定している。

#### 「クラブハウスの施設水準」

- ・会議室やロッカーハウスなどは必須。そのほか、来場者が休憩できるスペースとしてレストランや売店、プロショップ等を併設している。
- ・来場者にインパクトを与えるような展示スペースなどがあると、施設価値の向上を図ることができる。
- ・クラブハウスは、サッカー日本代表の練習を想定したロッカーや会議室等を設けているとともに、JOCが指定する競技別強化拠点の要件を満たした仕様となっている。

### b 施設維持管理の方法

#### 「天然芝のグラウンドの維持管理の内容等について」

- ・年間通して常緑の状態を保てるように、グラウンドキーパーに外部委託している。なお、グラウンドキーパーは施設に常駐している。
- ・オーバーシードは、9月中旬から11月中旬にかけて実施している。養生期間は、各グラウンド（5面）の重複を極力避けるように工夫しながら、1ヶ月程度を確保している。
- ・冬芝から夏芝への切替えが難しい状態の年は、5～6月頃に薬剤散布を行う兼合いで、約1ヶ月程度の養生を行うこともある。
- ・維持管理は、グラウンドの状態や気候、風土等を勘案しながら、毎年試行錯誤を重ねながら実施している。
- ・トップリーグ専用グラウンドは3000万円/面程度の費用をかけて維持管理している。しかしながら、養生期間も相当長く確保する必要があり、施設の日常の営業や運営を考えると、専用グラウンド以外では非常に難しい。1000万円/面が最低ライン。

- ・天然芝グラウンドの利用料だけでは、天然芝グラウンドの維持管理費を捻出できない。
- ・ナーセルはあった方が良い。

#### 「人工芝のグラウンドの維持管理の内容等について」

- ・年間 2~3 回のブラッシング（自主）に加え、破損箇所の修繕等はメーカーに依頼している。
- ・本施設では、1800 時間/年の利用を前提に 6 年間のメーカー補償がある。しかしながら、想定  
の倍程の利用が行われているため、3 年間で補償が切れてしまう。
- ・人工芝の張替えは 1 億円/面程度の費用がかかる。

### c グラウンドの年間利用状況

#### 「年間の利用者数・利用団体等について」

- ・平成 27 年度の実績は、利用者数 578,735 人、観客者数 157,917 人の計 736,652 人。
- ・利用団体はサッカー協会（日本・関西・大阪）や街クラブ、周辺の学校の部活動など多岐にわたる。

### d 合宿誘致の方法について

#### 「対象団体を誘致する方法や、誘致のために必要なこと等について」

- ・合宿対象団体は、プロ・企業スポーツ・社会人・大学生・高校生・小中学生等多岐にわたるとともに、国内に限らず、海外からの団体の利用もある。
- ・合宿誘致は、営業や日本サッカー協会、旅行代理店、各団体などに対して営業を行っている。

### e 大会誘致の方法について

#### 「対象団体を誘致する方法や、誘致のために必要なこと等について」

- ・大会対象団体は、日本、関西、大阪府サッカー協会主催及び、主管の大会、堺サッカー連盟。
- ・大会のスケジュールは、堺市からの利用希望等も勘案し、前年度に翌年度の優先調整を行っている。その他は施設側が主催となる自主事業として開催している。なお、関係各所へのヒアリングを行い、閑散期や平日はイベント業者への営業も行っている。

## f スポーツ合宿地に必要な機能や競争に打ち勝つ方法について

### 「施設水準・広さ・宿泊・交通・土産物・観光地等について」

- ・海外団体の誘致には、アクセス条件等の利便性が重要になる。
- ・天然芝や人工芝を高い水準に維持すれば、多くの団体から問い合わせを受けることができる。
- ・宿泊施設を設置したことで、海外団体の利用件数が大幅に増加した。
- ・本施設の利用者を堺市内に観光等で誘導することが課題。
- ・サッカー協会をはじめとする関係各所とのコミュニケーションが重要。また、利用時には最大限の対応を行うとともに、スケジュールが厳しくとも、受入れの努力を行うことも大切。

## g その他

- ・築年数とともに修繕箇所が増え、（他の経費も考慮したうえでの）修繕費の捻出が必要となる。
- ・合宿地として、トレーニングジム・プール等の屋内施設のニーズは年々増加している。
- ・施設の状況把握や対応など、大規模な施設に対する効率的な管理運営体制の構築や、利用者 1 人 1 人に対する細やかなサービスの向上が必要。
- ・市も含めた大会や合宿の受け入れや、コンベンション制度の確立がポイント。
- ・特定のスポーツに特化すれば施設の充実度が重視されるが、多様なスポーツの利用を受け入れられる多機能な施設であることも大切。
- ・公的施設であるため、行政が優先予約権をもっている。市民利用や地域、協会等の大会で週末の利用が埋まってしまう場合があり、合宿等の誘致に支障がでる場合がある。トップリーグ利用、合宿利用、市民利用等の施設の方向性を定めることが重要。
- ・駐車場収入は非常に重要な資金源となる。年間で 1 億円程度の収入がある。
- ・小中学生の利用は、保護者等の観客利用も多く、非常に収益性が高い。
- ・宿泊並びにグラウンドの利用について、週末及び夏休み等の利用は、自然と埋まってしまう。年間の利用日数・枠が決まっている以上、収益をあげるためには、平日の利用率を向上させることがポイント。
- ・現在、市から指定管理料はもらっていない、利用料収入のみで維持管理費をまかなっており、年間 4000 万円程度を市に納付している。昨年の売上げは 4 億 7000 万円程度（グラウンド利用料として 2 億 5000 万円程度、他の主要な収入源として、駐車場、レストラン、スポンサー等がある）。
- ・合宿における宿泊費は、一般で 8500 円/泊、トップアスリートで 12000 円/泊程度。トップアスリートの場合、食事等がクラブのリクエストを受けた特別メニューとなる。施設は 250 人定員で年間 36000 泊程度の実績がある。

④ 現地写真



天然芝メインフィールド【S1】



芝生シート養生



天然芝フィールド【S2-5】



人工芝フィールド【S6-14】



人工芝の更新



400mトラック付人工芝フィールド【S14】



屋根付き人工芝フットサルフィールド【F1-3】



センター広場



ナーセル



グラウンドキーパー詰所



クラブハウス全景



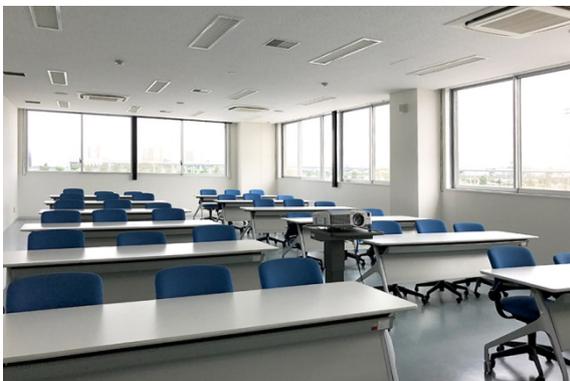
クラブハウスロビー



クラブハウス会議室 (大)



クラブハウス会議室 (小)



クラブハウスミーティングルーム



クラブハウス応接室



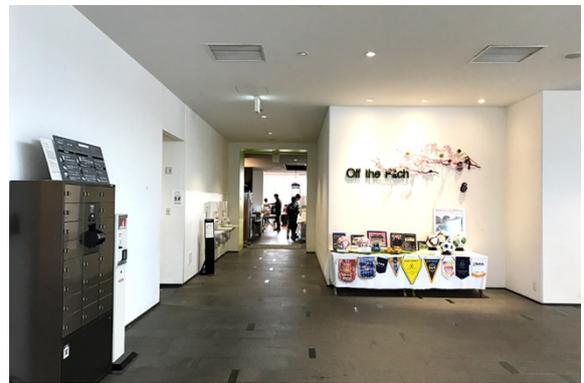
サッカーショップ「KAMO」



カフェレストラン「タッチライン」



宿泊施設「ドリームキャンプ」全景



宿泊施設ロビー



宿泊施設壁画



宿泊施設レストラン「off the pitch」



足湯



移動販売車

# ⑤ J-GREEN 堺パンフレット

## ABOUT J-GREEN SAKAI

### J-GREEN 堺とは

J-GREEN 堺は、日本最大の施設規模を誇り、サッカーをはじめとするスポーツ・レクリエーション活動の振興を図るスポーツ施設です。  
「J-GREEN 堺」の「J」は Japan と Jump の頭文字として、日本有数のスポーツ施設であることや選手の飛躍や施設の発展の思いを表しています。また「GREEN」は、非オールドグリーンである天然芝をはじめとする環境が広大なスポーツ施設であることがイメージできるものとともに、それぞれのアルファベットには、堺市立サッカーナショナルトレーニングセンターの大きな可能性や期待が込められています。

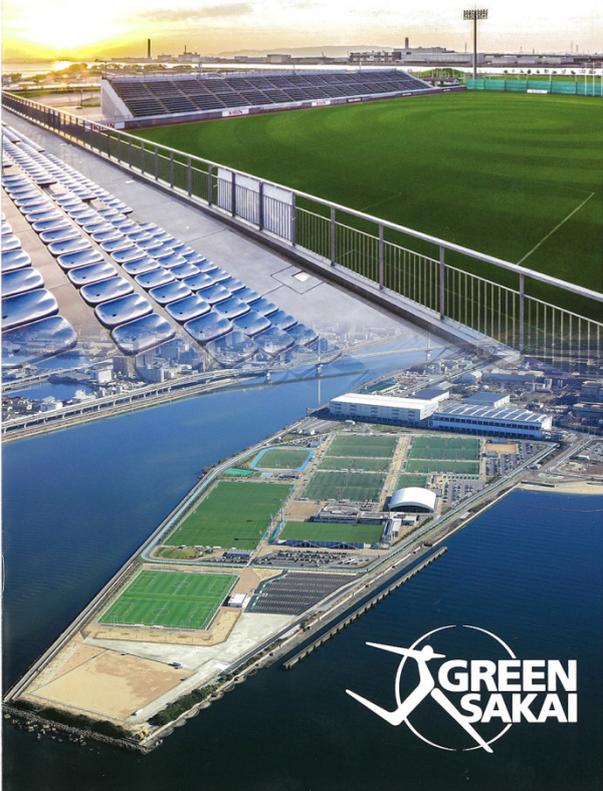
**J** Japan(日本)  
【日本有数のスポーツ施設であること】  
**J** Jump(飛躍)  
【選手や施設の飛躍や発展の思い】  
**G** Global(世界)  
【世界へ届く、世界の野球選手やサッカー選手、選手や観客を魅了するために】  
**R** Realize(実現)  
【夢を現実にするために】  
**E** Ecology(環境)  
【広大な環境を活かして、様々な環境に適した施設】  
**E** Education(教育)  
【選手や観客の両方からスポーツを通じて人間教育を進めるために】  
**N** Next generation  
【青少年の心身の健全な成長を促進する活動拠点となるように】



### Access



J-GREEN 堺のご予約・お問合せ  
 〒590-0901 大阪府堺市堺区築港八幡町 145 番地 J-GREEN 堺  
 TEL.072-222-0123 FAX.072-222-3355 <http://www.jgreen-sakai.jp>  
 For reservation and inquiries, contact: J-Green Sakai 145 Chikyo-yatai-machi, Sakai-ku, Sakai, Osaka 590-0901 Japan  
 TEL.072-222-0123 FAX.072-222-3355



### J-GREEN SAKAI DREAM CAMP

母館数62室 収容人数306人  
 TEL 072-282-0100  
 FAX 072-282-0300  
 併設/JFAアカデミー堺

## Facility Map

この広大な施設に夢が詰まっている。  
 Where no dream is too big.

**■ 天然芝メインフィールド (照明設備有り)**  
 60m x 105m (天然芝) 照明設備有り。ラグビー・アメリカンフットボール可能。  
 Natural Grass Main Fields (with lighting fixtures)  
 60m x 105m (Natural Grass) with lighting fixtures. Rugby and American football possible.

**■ 天然芝フィールド (照明設備無し)**  
 60m x 105m (天然芝) 照明設備無し。  
 Natural Grass Fields (without lighting fixtures)  
 60m x 105m (Natural Grass) without lighting fixtures.

**■ 人工芝フィールド (照明設備有り)**  
 60m x 105m (人工芝) 照明設備有り。JFAとFIFA承認。ラグビー・アメリカンフットボール可能。  
 Artificial Grass Fields (with lighting fixtures)  
 60m x 105m (Artificial Grass) with lighting fixtures. JFA and FIFA approved. Rugby and American football possible.

**■ 人工芝フィールド (照明設備無し)**  
 60m x 105m (人工芝) 照明設備無し。JFAとFIFA承認。  
 Artificial Grass Fields (without lighting fixtures)  
 60m x 105m (Artificial Grass) without lighting fixtures. JFA and FIFA approved.

**■ 400mトラック付人工芝フィールド (照明設備有り)**  
 60m x 90m (人工芝) 照明設備有り。トラック付。ラグビー・アメリカンフットボールも利用可能。  
 Artificial Grass Field with 400m Track  
 60m x 90m (Artificial Grass) with lighting fixtures. Track included. Rugby and American football also possible.

**■ 観客席付人工芝フィールド (照明設備有り)**  
 60m x 105m (人工芝) 照明設備有り。観客席約300席。JFAとFIFA承認。  
 Artificial Grass Field (with lighting fixtures)  
 60m x 105m (Artificial Grass) with lighting fixtures. Seats approx. 300. JFA and FIFA approved.

**■ 200mトラック付人工芝フィールド (照明設備有り)**  
 20m x 40m (人工芝) 照明設備有り。トラック付。ラグビー・アメリカンフットボールも利用可能。  
 Futsal Fields (with lighting fixtures)  
 20m x 40m (Artificial Grass) with lighting fixtures. Track included. Rugby and American football also possible.

**■ ロッカーハウス5棟**  
 各棟約1,000㎡。更衣室、洗面室、シャワー、トイレ、ロッカールーム、トレーニングマシン等。  
 Locker Room Building (5 Buildings)  
 Each approx. 1,000 sqm. Includes changing rooms, showers, toilets, lockers, training machines, etc.

**■ センター広場**  
 2,000㎡。クラブハウスの人工芝広場。  
 Central Square  
 2,000 sqm. Artificial grass area in front of the club house.

**■ スポーツ広場**  
 2,000㎡。アスレチック広場付。  
 Sport Square  
 2,000 sqm. Includes athletic area.

**■ クラブハウス**  
 2階。受付、待合、レストラン、会議室、トレーニングジム、ミーティングルーム、多目的ホール。  
 Club House  
 2nd Floor: Reception, Waiting Room, Restaurant and other rooms, 2nd Floor: Conference Room and other multipurpose rooms.

**■ 見晴らしの丘**  
 約100m x 100mの緑の丘。自然環境を満喫できる。  
 Scenic Hill  
 Approx. 100m x 100m green hill. Enjoy the natural environment.

**■ サイクリングコース**  
 約10km x 20km。緑の丘をめぐり、自然環境を満喫できる。  
 Cycling Course  
 Approx. 10km x 20km. Enjoy the natural environment around the green hill.

**■ ウォーキングコース**  
 約10km x 20km。緑の丘をめぐり、自然環境を満喫できる。  
 Walking Course  
 Approx. 10km x 20km. Enjoy the natural environment around the green hill.

**■ 太陽光発電システム**  
 約100m x 100mの太陽光発電パネルを設置。自然エネルギーを有効活用。  
 Solar Power Generation System  
 Approx. 100m x 100m solar panels installed. Effective use of natural energy.

**■ サッカー日本代表足型レリーフ**  
 日本代表選手の足型を記念として設置。  
 Footprints of Japanese National Team  
 Installed in commemoration of Japanese national team players.

**■ 駐車場**  
 約1,150台。バス、タクシー、乗用車専用。  
 Parking  
 Approx. 1,150 spots. Dedicated for buses, taxis, and private cars.